大日本塗料株式会社
会社説明資料

大日本塗料株式会社

2026年1月

証券コード　4611　東証プライム

アジェンダ

1. 会社概要 p.02
2. 特徴と強み p.11
3. 成長戦略 p.17
4. サステナビリティへの取り組み p.31
5. 決算概要 p.36
6. 配当・ご優待制度 p.39

1. 会社概要

大日本塗料とは？

DNT
DAI NIPPON TORYO

業歴96年
(1929年創立)

グループでは
LED照明機器も

構造物塗料分野
国内トップクラス 👑

三菱広報委員会所属
mitsubishi.com

源流は
島津製作所

大阪本社の
在阪企業

国内塗料
売上4位

ライフサイエンス分野や
インクジェット用インクも手掛ける

経営理念と会社概要

【経営理念】

当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、
広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します。

社名 大日本塗料株式会社 （略称：DNT）	創立 1929年7月
本社所在地 大阪市中央区	上場市場 東証プライム
決算期 3月31日	単元株数 100株
連結従業員数 2,496名 （2025年3月31日現在）	連結子会社 29社 （2025年3月31日現在）

代表取締役社長
里　隆幸

DNTグループのマテリアリティ

- ✓ **事業活動を通じた社会への貢献**、その**事業活動の持続性確保**という視点から**6つのマテリアリティ**を設定。
- ✓ 2026中計では、ビジョン2029に向けた事業戦略と基盤の進化を図るべく3つの基本方針を掲げる。

安全・快適な社会と社会インフラへの貢献	未来を見据えた製品及び技術開発による社会への貢献
気候変動対策・脱炭素社会への貢献	資源の循環・サーキュラーエコノミーへの貢献
多様な人材の確保と能力を発揮できる環境づくり	コーポレート・ガバナンスの強化、社会的責任の遂行

公式キャラクター「ひえティ®」

当社が掲げる
「気候変動対策・脱炭素社会への貢献」
を象徴する存在です。
ひえティが温暖化で温まった地球を優しく抱いて冷やすように、当社は地球環境にやさしい製品の提供を通じて社会への貢献を果たしてまいります。

2026中計基本方針

- 成長市場と先駆的領域への注力
- 外部リソースの獲得・活用による事業基盤の拡大
- 人材及び事業活動の全社最適化

DNTグループの原点

1920年（大正9年）

二代目島津源蔵が鉛蓄電池に用いる鉛粉の製造技術「**易反応性鉛粉製造法**」を開発。

1929年（昭和4年）

日本電池(現:ジーエス・ユアサコーポレーション)の塗料部門を分離し、**創業**。
大阪市此花区の塗料会社を買収し、塗料製造事業を開始。
⇒その後、海軍指定工場になるなど軍需産業とともに成長。

1958年（昭和33年）

街頭ディスプレイ等、鮮明な色調の需要が高まり、鎌倉市大船に**蛍光顔料・蛍光塗料**の工場建設。
⇒現 シンロイヒ（蛍光色材）

塗料事業

二代目 島津源蔵 氏

1923年（大正12年）

亜酸化鉛粉錆止塗料「ズボイド」を発明、世界8か国で特許を取得。
大阪・堂島大橋の改築に採用。

大阪・堂島大橋

ひえティ®

照明機器
蛍光色材

照明機器、蛍光色材ともに塗料技術から派生して形成

1946年（昭和21年）

蛍光塗料の技術を応用した**放電灯**の生産拠点として、平塚に工場建設。
⇒1977年に分離、現 DNライティング（照明機器）

DNTグループの更なる成長に向けて

DNT DAI NIPPON TORYO

製品ポートフォリオ拡充 × 成長市場への展開加速

神東塗料

2025年3月（令和7年）

総合塗料メーカーの
神東塗料を連結子会社化

DNTと神東塗料それぞれのサプライチェーンの各要素において、提携シナジーの創出や効率化・合理化を図り、総合的な収益性の改善を図る。

調達	生産	販売	輸送・物流
● 共同購買や原料統合によるボリュームディスカウントの創出 ● 機能集約による業務効率改善	● 製造ライン再編や総合的な最適化 ● 品質管理、労働安全管理の高度化	● 製品相互供給によるラインナップ補完 ● 営業拠点の集約による固定費削減	● 保管・荷役業務の一本化 ● 共同輸送による積載・輸送効率の改善

塗料事業

ボンフロン
フッ素樹脂分野の高い技術力
高機能材料開発力

DNTグループ
独自技術・顧客基盤
販売チャネル

技術・開発力と販売力の融合・高度化

国内フッ素樹脂塗料市場におけるDNTの競争優位性・プレゼンス向上

①高付加価値品比率の上昇　②単価・粗利率の改善　③収益性の持続的向上

BFC BONNFLON

2025年12月（令和7年）

機能性フッ素樹脂塗料を手掛けるAGCコーテックを連結子会社化し、新会社「**ボンフロン**」が誕生。

事業セグメント構成（2026年3月期）

- ✓ 主力の塗料事業で国内外合わせて連結売上高の86%を占める。
- ✓ そのほか業務用LED照明を手掛ける**照明機器**や主に蛍光顔料を扱う**蛍光色材**などをグループにもつ。

その他

ニットサービス、日塗エンジニアリング、友美工業

蛍光色材

シンロイヒ

照明機器

・DNライティング
・秋田DNライティング

海外塗料

・東南アジア（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）
・メキシコ
・中国

国内塗料

【製造・販売】
大日本塗料、日塗化学
神東塗料、ボンフロン

【販売系】
DNT山陽ケミカル、早神
大日本塗料北海道
宇部塗料、サンデーペイント
ジャパンカーボライン
九州シントー、シントーファミリー

【製造系】
日東三和塗料、千葉化工
岡山化工、DNTサービス
シントーサービス

ひえティ®

セグメント別営業利益 推移（億円）

- ✓ リーマンショック後の収益体質改善により、国内塗料はコロナ禍においても一定の利益水準を確保。
- ✓ 近年は収益力強化策が実る照明機器が収益を下支え。

大日本塗料のポジショニング

- ✓ 国内は大手総合メーカー２社と各領域のニッチトップに二極化。
- ✓ 大日本塗料は売上規模は５位（国内塗料売上は４位）のなか、構造物塗料に強みを持つ。

2025年3月期　国内塗料メーカー売上高

2. 特徴と強み

①重防食塗料・粉体塗料で業界トップ

- ✓ 構造物の重防食塗料では業界トップシェアを誇り、現在もなお橋梁や鉄塔など様々なランドマークを護り続ける。
- ✓ 2025年12月にはフッ素樹脂塗料のリーディングカンパニーである「AGCコーテック」が連結子会社となり、「**ボンフロン**」としてDNTグループに加わったことにより、重防食塗料分野が強化。
- ✓ **神東塗料**の連結子会社化により、大日本塗料グループでは粉体塗料でも業界トップクラスのシェアに。

重防食塗料

※当社推定

重防食塗料とは？

橋梁や鉄塔、プラントなど厳しい環境下で過酷な腐食条件にも耐えながら金属を長期的に錆や腐食から保護する**高耐久塗料**。

フッ素系塗料

※当社推定

非常に高い耐久性を持つ**高付加価値塗料**で、太陽光や雨風に強く、**重防食用塗料**や**粉体塗料**として使用されています。

具体的にはビル外装や橋梁などに塗装されています。

粉体塗料

※当社推定

粉体塗料とは？

有機溶剤を含まない粉体塗料は、環境保護の観点から需要が高まっている「**人と地球に優しい**」焼付形塗料です。

②国内拠点

国内6か所の生産拠点と、全国をカバーする営業網で事業を推進

- 本社
- 生産拠点・生産子会社
- 営業所・販売子会社
- その他連結子会社

本社・大阪事業所

小牧事業所（工場・研究所）

那須事業所（工場・研究所）

③研究開発 / 防食技術センター

防食技術に関するトータルソリューションを提供する専門施設。

防食技術センター（那須）

防食分野において共同研究・共同開発いただける大学や企業などコラボレーションパートナーを募集しています。

- ✓ 塗装現場での作業の最適化と環境にやさしい塗料の開発を進める。
- ✓ 当社が開発した塗料を、実際の現場に近い作業環境で体験することができる。
- ✓ 代理店様や塗装業者様、プラントメンテナンス業者様などに向けた研修や講習を行う。

①幅5m×高さ4mの塗装ブースで大型の構造体を塗装可能。

②温度や湿度をコントロールできる大型環境試験機を設置。

③海洋構造物に必要な防食塗装の促進劣化を行う促進防錆試験室を設置。

③研究開発 / コーティング技術センター

あらゆる素材コーティングを研究する総合施設。

製品開発の強化に貢献

意匠性の向上や新素材への塗装など、
業種を問わず塗装に関するさまざまな課題に
対してソリューションをご提案いたします。

- ✓ 液体、粉体、インクジェット、インモールドなど様々な塗装機械を備えている。
- ✓ さまざまな塗装を組み合わせて、複合塗装が一か所で試せる。
- ✓ 大きな製品塗装が可能。

コーティング技術センター（小牧）

複合的な塗装システムをユーザーカスタマイズ

スプレー塗装

インクジェットプリント

粉体塗装（焼付塗装）

インモールドコーティング

④現場密着

営業部隊と、技術提案を行うテクニカルサポートグループが
お客様の現場に密着し、当社技術で解決できる課題を見つけて提案します！

3. 成長戦略

中期経営計画

- ✓ 長期ビジョンとして「持続的成長力を持つ企業」をあるべき姿として掲げ、その具現化したかたちとして創立100周年を迎える2029年度に**売上高1,000億円、営業利益100億円**を目指す。
- ✓ 2026中計では成長市場と先駆的領域への注力、外部リソースの獲得・活用による事業基盤の拡大、人材及び事業活動の全社最適化を基本方針とする。

トピックス：神東塗料の連結子会社化

2026中期経営計画において塗料事業基盤の拡大のための**外部リソースの獲得・活用**を基本方針としている。

2026年中計基本方針

- 成長市場と先駆的領域への注力
- **外部リソースの獲得・活用による事業基盤の拡大**
- 人材及び事業活動の全社最適化

創立100周年ビジョン2029

【財務目標】

・連結売上高
1,000億円
・連結営業利益
100億円

DNT100周年に向けてのビジョン

＝＝＝＝＝＝＝目的＝＝＝＝＝＝＝

①攻めの設備投資

老朽化した工場⇒例えばどちらかに製造を一時的に移管⇒もう一方を刷新。
製造ロットを大規模化し、原価単価を低減⇒総利益も確保、価格競争力が向上し、他社に価格でも勝負できるように。

②製品ラインナップの拡充

DNTと神東塗料でお互いの短所を補い合える。

③共通原料の共同購買、配合統合によるコスト削減を図る。

原料をまとめて購入することで単価を下げることができる。共通する配合は統合することで管理コストの削減を図る。

事業ポートフォリオ

- ✓ 3年後の100周年に向けて成長を加速すべく、**グループ内各事業を４つのカテゴリーに分類。**
- ✓ 基幹事業である構造物用塗料やLED照明は付加価値を高めることで有機的成長を推進し、**創出したキャッシュは成長ドライバとして位置付けた事業へ投資**し、貪欲な成長を志向する。

キャッシュアロケーション方針と進捗状況

株主還元・成長投資を優先的に実行、営業CFの強化に努める

キャッシュインの進捗状況

営業CF
2か年累計見込：65~70億円

計画にはビハインドの状況、収益改善に努める

政策保有株式売却高
2か年累計見込：約43億円

借入の活用(残高増加額)
2か年累計見込：55~65億円

遊休資産と借入活用を進める

2024-2026年度 3か年累計（計画）

キャッシュイン

営業CF

150億円

政策保有株式の圧縮等

借入の活用

社内外資産の効率活用

キャッシュアウト

株主還元

50億円＋α

FY26：DOE3%

成長投資
設備更新
(人的資本投資・DX)

200億円＋α

キャッシュアウトの進捗状況

配当総額
2か年累計見込：約30.4億円

計画に基づき還元を強化

投資額
2か年累計見込：約137億円
（M&A2件含む）

将来を見据えた大型投資を複数敢行

国内塗料事業　構造物・重防食塗料

強み特徴

- ✓ 被塗物を長期的に保護する重防食技術に強み。→ **構造物用塗料は国内トップクラス**
- ✓ 塗装現場のニーズに沿った製品開発や市場開発により、常に業界をリード。

明石海峡大橋

熊谷ラグビー場

高輪ゲートウェイ駅

高速道路や橋梁、鉄塔といった私たちの暮らしを支える社会インフラなどに使用されています。

厚膜型重防食塗装により、数十年間にわたり鋼構造物を保護。VOC排出量を最大約31％削減、環境対応も抜群。

省工程防食シート工法「メタモルシート#1」

土木建設業の課題に応える製品開発

- ✓ 担い手不足
- ✓ 労働時間規制
- ✓ 技術伝承

「塗る」から「**貼る**」で

工程の短縮＆簡易化

国内塗料事業　工業用塗料

強み特徴

- ✓ 金属焼付用塗料に含まれる粉体塗料は環境対応形塗料の代表格。
- ✓ 塗料事業とインク事業の両方を展開している強みを生かし、**新しい塗装システムをご提案！**

金属焼付用塗料

東京丸の内「丸の内パークビルディング」

ビルのカーテンウォールやアルミサッシから、鋼製家具、農業・建設機械、弱電機器、PCMに至るまで幅広い用途に使用されています。

車輌用塗料

JRKYUSYU SWEET TRAIN「或る列車」

- ◆ 多様なデザインをあらゆる産業用途へ展開
- ◆ 耐久性を備えたカラーテクノロジー

塗料とインクを組み合わせたデジタルコーティング

インクならではの美観性に優れたものを塗料によって長期間保護することで、今までにない付加価値を提供しています。

ステンレスボトル

物置

国内塗料事業　新規分野

強み特徴

- ✓ 成長ドライバと位置付けた事業には積極的に投資し、貪欲に成長を目指す。
- ✓ 塗料分散技術の応用から、20年以上にわたり異方性貴金属ナノ粒子の研究を行っており、銀ナノプレートや金ナノロッドの**安定的な合成技術を有する。**

ナノコート剤

◆ 多様な機能を持つコーティング剤を展開

・帯電防止機能　→各種光学フィルム、帯電防止材料
・屈折率調整機能→反射防止フィルム、各種光学レンズ
・熱線吸収機能　→住宅やビル、車などの窓ガラス

帯電防止

熱線吸収

ライフサイエンス

◆ 「イムノクロマトキット」を米国へ販路を拡大

◆ 本キットの自動定量システムをTOPPAN(株)と共同開発。イムノクロマトの検出結果を定量化する技術を確立。

色の濃淡で細胞外小胞(EVs)を定量

開発背景

細胞から分泌され、細胞由来の
様々な情報を含む粒子
「細胞外小胞」

インフルエンザウイルスなどの
診断キットでよく用いられる
「イムノクロマトキット」で検出可能に！
（簡易化）

世界初!!

医療・医薬分野における研究を後押し

海外塗料事業

強み特徴

- ✓ 当社グループの海外セグメントは**自動車部品用塗料**が販売の過半を占める。
- ✓ 製造～開発～営業戦略と国内と連携し、成長市場と位置付け事業拡大を図る。

▲THAI DNT PAINT MFG. CO., LTD.

東南アジアにおける開発拠点化

技術部の組織再編、分析機器・試作設備の導入による機能強化

北中米エリア

- ✓ **自動車部品用**塗料を展開

⇒非日系メーカーとの取引拡大に注力

▲自動車内装部品
DAI NIPPON TORYO MEXICANA, S.A. DE C.V.
DNT KANSAI MEXICANA, S.A. de C.V.

東南アジア・中国エリア

- ✓ 自動車部品用塗料はタイを中心に顧客フォローの強化を推進
- ✓ 金属建材向けなど**粉体塗料**の販売を強化

照明機器事業：DNライティング①

強み特徴

- ✓ 豊富な製品ラインナップやニーズに沿ったカスタマイズ対応、施工までの一貫提供が高く評価されている。
- ✓ 汎用品ではなく、商業施設や文化施設などの**高級志向の照明機器**において高シェアを有する。

事業内容

1. 店舗照明
2. 建築化照明
3. 紫外線ランプ・LED特殊光源
4. 電気工事・設計監理
5. 住宅照明

★Value★

あらゆる空間に対応する
多彩な品ぞろえ

お客様ニーズを実現する
カスタマイズ力

多品種と高品質を支える
自社生産体制

①TOKYO NODE ②虎ノ門ヒルズ ステーションタワー ③玉川髙島屋S・C　本館2階 ④徳川美術館

照明機器事業：DNライティング②

更なる成長力強化に向けた投資

▲ DNライティング株式会社伊勢原新本社

より高品質で革新的な製品開発・販売を！

☆ポイント☆

1. 配光測定機・球面光束計、無響音室、防水試験室、モデリング室、環境試験室などの多様な試験環境
2. 物流部門・購買部門・検査部門が連携
3. 照明にイノベーションをもたらす技術開発・生産性・創造力をもたらすオフィス環境

⇒これらが未来につながり、新たな価値を生み出します。

配光測定機
大型のムービングミラー方式配光測定機は高精度で信頼性のあるデータを測定することができます。

防水試験機
照明器具外郭の「水の侵入」に対する保護等級を評価します。注水ノズルを交換しながらIP保護等級に対応した試験を実施します。

音響測定システム
照明器具から出る騒音の大きさを測定。器具が発する音のみを正確に測定でき、静音性が重要視される器具開発に活用しています。

蛍光色材事業：シンロイヒ①

強み特徴

- ✓ 蛍光顔料は**国内寡占状態。**
- ✓ テーマパーク用内外装塗料や防災用途の蛍光塗料など、我々の暮らしに密着した製品を展開。
- ✓ アート作品や公共施設にも多数採用！

視認性の高い蛍光色の特徴を生かし、ファッション業界から安全対策用途まで幅広く活用

瀬戸内国際芸術祭2025の中で、女木島エリアで鑑賞できる24作品中の下記3作品に協賛！

「休校書店 メコチャン」ザ・キャビンカンパニー様

「ピンポン・シーNEW!」原倫太郎様,原游様

「SUNSET TAILOR 思い出オーダーメイド」原游様

蛍光色材事業：シンロイヒ②

DAI NIPPON TORYO

渋谷で開催された ブラックライトアートショー2024に協賛

当社の製品を使ったライブペイントも開催！

京都のJR二条駅前商業施設Bivi二条に新たにオープンした 駄菓子テーマパーク「京・二条駅昭和レトロ横丁駄菓子ワールド」 に塗料テクアートカラーが使用！

テクアートカラーとは？

メイン製品である蛍光色材とは異なり、新しい材料をあたかも経年変化したような美しい質感を表現するエイジング塗料に用いられる塗料で、テーマパーク内の壁や備品などで使用されております。

その他事業：【物流】ニットサービス

強み特徴

- ✓ 【物流】塗料物流で培った危険物輸送・保管ノウハウ。
- ✓ 【塗装工事】施工、管理、塗膜保障、責任施工体制を確立。

新倉庫を建設し、基幹となる物流拠点を滋賀へ移転・集約

- グループ内外の様々なお客様へサービスの提供を展開！
- 全国の配送ルート保有！
- 小回りの利く運送網を整備！
- 物流拠点
  ⇒栃木、千葉、愛知、
  滋賀、岡山、福岡

▲高層自動ラックを導入した新設倉庫

安心の「保管・配送」

- 最新の高層自動ラック倉庫により高品質な保管を実現。
- ハンディーターミナルによる検品システムを導入。
- 一般倉庫・定温倉庫により、様々な商品の保管と纏め配送が可能。
- 定温倉庫では温度変化による商品の劣化を予防。

4.サステナビリティへの取り組み

ESGに関する取り組み（E：環境 排出量削減）

2029年度までに2021年度基準でScope1,2のCO_2排出量を40%削減するグループ目標を設定。

Scope1,2におけるCO_2排出量推移

今後の課題

- ✓ 省エネ設備の導入
- ✓ 再生可能エネルギーの導入など

集計対象範囲：DNTグループ全社

塗料の製品ライフサイクルCO2排出量

今後の課題

- ✓ グリーン調達
- ✓ 環境負荷が小さい塗料の開発

※ユーザーによる使用時におけるCO_2排出量は算定困難なため算出せず

ESGに関する取り組み（E：環境 製品開発）

DAI NIPPON TORYO

塗料配合や塗装工程などを考慮した環境対応製品を当社独自に定義。
塗料を用いる作業者の皆さまや塗料ユーザーに対して配慮した製品開発に注力。

素地調整軽減剤

防食塗装を施す際に重要な"素地調整"

「削る」 → 「 **塗る** 」 に！

『サビシャット・サビシャットスプレー』

- 動力工具で削る作業を軽減でき、
  粉塵や騒音の発生を抑制。
  周辺環境や**作業者**への配慮
- スプレー化により、作業性が劇的に改善。
  作業の**簡易化**＆**時短**に貢献

遮熱塗料

屋根や外壁に塗装することで、光の高反射・熱の
高放射作用を付加し、遮熱効果をもたらす塗料

『エコクールシリーズ』

建物の温度上昇を抑制

↓

省エネ効果

ひえティ®

ESGに関する取り組み（S：社会）

塗料代理店の株式会社カイノと共催で宮崎市の子どもたちとの塗装イベントを実施。

『 カラふるさとプロジェクト 』“暑さに効くアート”で地域をカラフルに！

遮熱塗料『エコクール』を使って
塗装の楽しさを通じて、地域を
彩る喜びや塗料の機能を
実感してもらうとともに
地元への愛着をはぐくむ
機会へ。

通学路沿いの建物外壁に
彩り豊かな壁画を
描きました。

今後も当社は、塗装イベントや塗料の協賛を通じて、塗料がもつ力を社会に還元し、
地域や人々の暮らしを豊かにする取り組みを進めてまいります。

ESGに関する取り組み（S：社会 / G：ガバナンス）

地域社会との共生や従業員との関わりの充実化、ガバナンスの強化によりESG経営を全面的に推進。

地域社会との共生

大阪・関西万博のワークショップに採用

テーマウィークの企画として実施された
量子についての展示「エンタングル・モーメント」の中の
ワークショップ内の模型に、シンロイヒ株式会社の
「マジックルミノペイント」が使われました。

従業員との関わり

人的資本経営に向けた社内環境整備

- ✓ 女性従業員の積極採用
- ✓ 男性の育休取得率57.1%（2024年度）
- ✓ 従業員の男女の賃金の差異74.2%（2024年度）

政策保有株式の縮減

2025年3月末までに政策保有株の
純資産比率10%未満を目指す。

⇒**8.4%となり達成。**（2025年3月末）

取締役会の実効性強化

- ✓ 独立社外取締役３名（うち女性１名）
- ✓ 取締役会の実効性評価の実施
  および概要の公表（統合報告書）

5. 決算概要

業績ハイライト

神東塗料の連結化によりビジョン2029の売上高目標は射程圏内。
神東塗料との事業提携コミッティを通じて総合的な収益改善に注力。

FY2024業績

売上高	72,511 百万円	FY2023比	+0.8%
		業績予想比*	△2.0%
営業利益	4,716 百万円	FY2023比	△3.8%
		業績予想比*	△1.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	9,437 百万円	FY2023比	+105.1%
		業績予想比*	+119.5%
NOPAT-ROE	5.3 %	FY2023比	△0.8p
		業績予想比*	△0.2p
ROE	15.2 %	FY2023比	+7.0p
		業績予想比*	+8.1p

*比較対象の業績予想は、すべて2024年11月8日公表時のもの

配当予想 1株当たり 49 円

FY2025業績予想

売上高	92,000 百万円	FY2024比	+26.9%
		実質ベース*	△0.7%
営業利益	4,100 百万円	FY2024比	△13.1%
		実質ベース*	△17.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,900 百万円	FY2024比	△69.3%
		実質ベース*	△70.3%
NOPAT-ROE	4.4 %	FY2024比	△0.9p
ROE	4.4 %	FY2024比	△10.8p

*実質ベースは、神東塗料の新規連結影響を除くもの

配当予想 1株当たり 58 円

貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月末	2025年9月末	増減額
流動資産	53,066	52,974	▲92
現金及び預金	12,649	12,535	▲114
受取手形、売掛金及び契約資産	23,782	23,519	▲263
棚卸資産	14,671	14,946	+275
その他流動資産	1,962	1970	+8
固定資産	80,277	81,221	+944
有形固定資産	46,040	47,112	+1,072
無形固定資産	1,410	1,274	▲136
投資その他の資産	32,826	32,834	+8
資産合計	133,344	134,195	+851
負債合計	57,173	59,145	+1,972
（借入金残高）	(11,576)	(13,426)	(+1,850)
純資産合計	76,170	75,049	▲1,121
負債純資産合計	133,344	134,195	+851

6. 配当・ご優待制度

株主還元　配当

- ✓ 2025年度決算における配当は、前期末株主資本に対するDOE3.0%基準に基づき、**9円増配の１株当たり58円**の予定。
- ✓ 2026年度以降については、次期中期経営計画のなかで**資本コストや株価を意識した経営**を踏まえて、方針や基準とする指標について検討中。

一株あたり配当	25円	25円	25円	25円	25円	25円	35円	49円	**58円**
自己株式取得額	379百万円	402百万円	308百万円	–	–	–	–	–	–

株主還元　株主優待

2022年度決算より、中長期保有の株主拡大を目的として、
継続保有年数と保有株式数を組み合わせた**株主優待制度に変更。**

		継続保有	
		1年以上3年未満	3年以上
保有株式数	100株以上1,000株未満	 **QUOカード 1,000円分**	 **QUOカード 2,000円分**
	1,000株以上	 **QUOカード 3,000円分**	 **QUOカード 5,000円分**

※１　対象株主は、毎年3/31現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株以上を1年以上継続保有する株主

※２　上記のQUOカードのデザインは昨年のものです。デザインには当社が障がい者の自立支援として協賛している「**パラリンアート**」より、【**Raphael Princess**】様の作品を使用させていただきました。

見通しに関する注意事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。

それらにつきましては各資料作成時点においての経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。

したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

○公式SNS

当社は公式SNSを開設しております。
製品や採用事例のご紹介など、皆様に大日本塗料をより知っていただける情報を発信してまいります。

https://www.instagram.com/dainippon_toryo_official/

https://www.youtube.com/channel/UCQU09EjLkUi-CPNXuZxfWjA

https://www.facebook.com/dainippon.toryo.official

大日本塗料株式会社

〒542-0081
大阪市中央区南船場1丁目18-11
Tel：06-6266-3100（代表）
公式HP：https://www.dnt.co.jp/
マガジンサイト：https://www.e-dnt.jp/
Mail：dnt-sou@star.dnt.co.jp